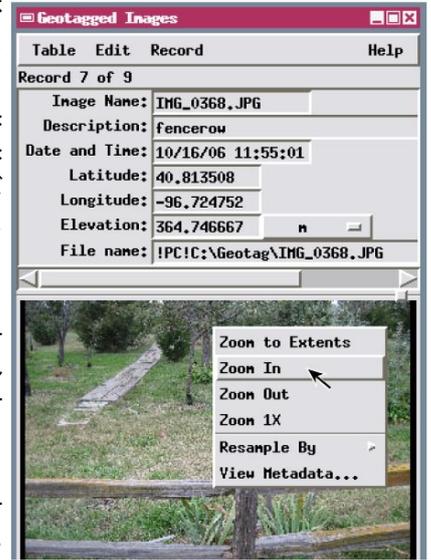


# ジオタグ画像テーブルの表示

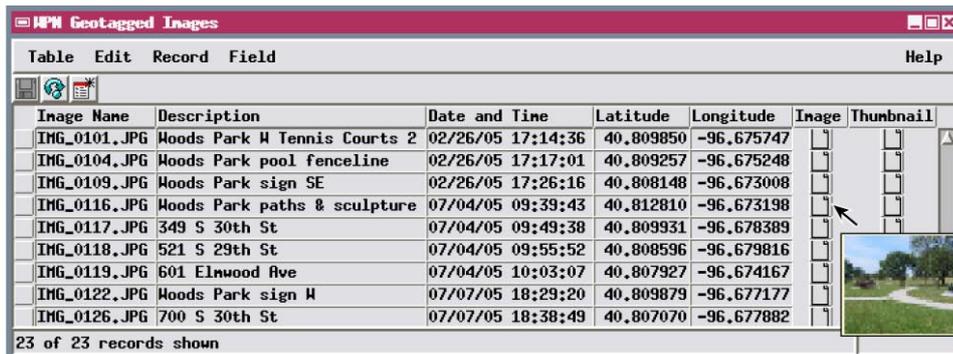
ジオタグイメージデータベースの作成処理によって処理したデジタル写真のテーブルは、他のデータベーステーブルと同様に単一レコード表示や表形式で表示することができます。どちらの表示方法でも、写真のテキストや数字の属性情報だけでなく写真自体も表示することができます。写真の表示は、埋め込まれた写真のテーブルだけでなく、外部の画像ファイルにリンクされたテーブルでも可能です。

テーブルの単一レコード表示（1つのレコードのフィールド名や値が縦のコラム表示されます）では、現在のレコードの画像がテーブルのウィンドウの下部に自動的に表示されます。単一レコード表示ウィンドウの大きさを変えると、画像も自動的にリサイズされます。画像の上でマウスの右ボタンをクリックして、画像の全体表示や拡大、縮小、1倍表示ができます。また、マウスのホイールを回転しても拡大、縮小ができ、左ボタンでドラッグすることで画像を移動させることもできます。

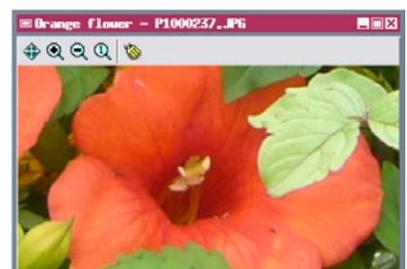
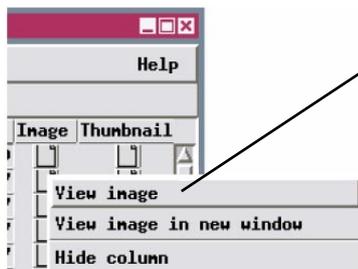
表形式の表示にはいくつかの方法があります。写真の画像フィールドの上でマウスカーソルを止めると、データチップが飛び出て画像のサムネイルを表示します。埋め込まれた画像を持ったテーブルにおいては、テーブルを作成したときに画像ごとに保存したサムネイルがデータチップ画像を作るのに使われます。オリジナル画像ファイルへリンクされているテーブルにおいては、データチップのサムネイルは必要な時に外部のファイルから作成されます。画像フィールドの上でマウスの右ボタンをクリックしてメニューを選択すると、画像を別々のイメージビューウィンドウに表示することができます。[View Image (画像の表示)] メニューは、現在開いているビューウィンドウの中に選択された画像を開きます（何も開かれていない場合はビューウィンドウを開きます）。[View Image in new window (新規ウィンドウに画像を表示)] オプションは、違う写真の別々のウィンドウに開くことができます。各ビューウィンドウのタイトルバーには表示されている画像の説明（画像テーブルの Description フィールドのもの）とファイル名が表示されます。ビューウィンドウは必要に応じてリサイズすることができ、アイコンボタンにはズーム機能があります。マウスのホイールによる画像のズームや左ボタンによる画像の移動は、単一レコード表示ウィンドウでも行うことができます。画像ビューは、テーブルに埋め込まれた画像の他に、リンクされた JPEG や TIFF、PNG ファイルなども表示することができます。ジオタグの付いた写真テーブルの作成に関する更に詳しい情報は、テクニカルガイドの“Digital Photos:Geotagging Digital Photos (デジタル写真：デジタル写真にジオタグを付ける)”を参照して下さい。



ジオタグ付画像テーブルの単一レコード表示（上）は、現在のレコードの画像を同じウィンドウの下部に自動的に表示します。画像の上で右クリックすると、ズームやその他のオプションを選択できるメニューが現れます。この例ではリンクされた（埋め込まれたものではない）画像を持ったテーブルが表示されています。



ジオタグ付画像テーブルの表形式の表示（左）では、画像フィールドの行の上でカーソルを止めるとデータチップが自動的に現れ、画像のサムネイルが表示されます。この例では埋め込まれた画像のテーブルが表示されています。



表形式の表示の画像フィールドの上で右クリックすると、別々の画像ビューウィンドウ（必要に応じてリサイズが可能）の中に画像を表示することができます。ビューウィンドウには画像の全体表示や拡大、縮小、1倍表示ができるボタンがあります。マウスホイールを回転して画像の拡大、縮小を行うことができます。画像の上で左クリックしてドラッグすると、拡大した画像を移動することができます。左上の画像ウィンドウは全体表示、右上は1倍表示に拡大し、移動したものです。